

## グループ討論

~技術シンポどうする？  
何を求める技術シンポ 2~

### メンバー

中桐正夫, 浜屋ひかり, 佐藤克久, 筒井寛典,  
鈴木光一, 小矢野久, 鎌田有紀子 (ZOOM参加)  
藤井泰範(ファシリテータ)

(ファシリテータが目論んだ)

# 本グループ討論の進め方

## 初回 (1日目)

- 自己紹介 (所属と技術シンポ参加歴等)
- 現状の技術シンポにおける良いところ、改善すべきところを自由に挙げる
  - カテゴリーとして「発表者目線」「聴講者目線」「その他」の3つに分ける
  - 「良いところ」は青色の付箋、「改善すべきところ」は赤色の付箋

## まとめ (2日目)

- 挙げられた付箋をもとに、今後の技術シンポに向けた改善点が見いだせるか？
  - 共通テーマ？
  - 何にメリットを求める？

## ・発表者

ぶんやがはな  
れてる。

若い世代の参加者  
には有効

教育的観点

B級グルメ

あまり「いらい」して  
ないので、そこで  
緊張しないで話せる。

貴重な

「保守・運用」の

発表機会

技術系職員の

業績に対する

発表内容  
が技術

?

# 発表者目線

## ・良いところ

- ・ 若い世代の参加者には有効
- ・ 教育的観点
- ・ B級グルメ(先端研究的開発ではなく、日常の運用とかピリッとおいしい感じ)
- ・ 貴重な保守運用発表機会
- ・ 技術系職員の業績になる(報告書)
- ・ あまりピリピリしていないので緊張しないで話せる

## ・改善すべきところ

- ・ 分野が離れている
- ・ 発表内容が技術?

# ・聴講者

色々な技術知識を  
している技術者に  
お話を伺う

顔が見える

どの様に処理  
解決しているか  
判かる

・広い範囲の話を  
聞いていろいろ  
参考にしたい

・情報共有  
・天文台技術者の交流  
・旅費が支給されて  
いる。

分野が  
はなれた場合  
議論に参加  
できない  
情報収集も困難

# 聴講者目線

- ・良いところ
  - ・ いろいろな知識を持つ技術者に話を聞くことができる
  - ・ 顔が見える
  - ・ どのように処理解決しているか見える
  - ・ 情報共有
  - ・ 天文台技術者の交流
  - ・ 旅費が至急されていた
  - ・ 広い範囲の話が聞けている参考になる
- ・ 改善すべきところ
  - ・ 分野が離れた場合、議論に参加できない
  - ・ 情報収集困難

## ・その他

目的が  
よくわかん

経費

費用対効果

専門性が  
多様?

世話人が  
たいへん

コピー

フェース  
ツー  
フェース

。体育系交流  
あくなつたの  
さしい。

「技術推進」に  
つながらない

・キョウワフジニシは  
考之汰しい

学生にやさしい

いす。

# その他

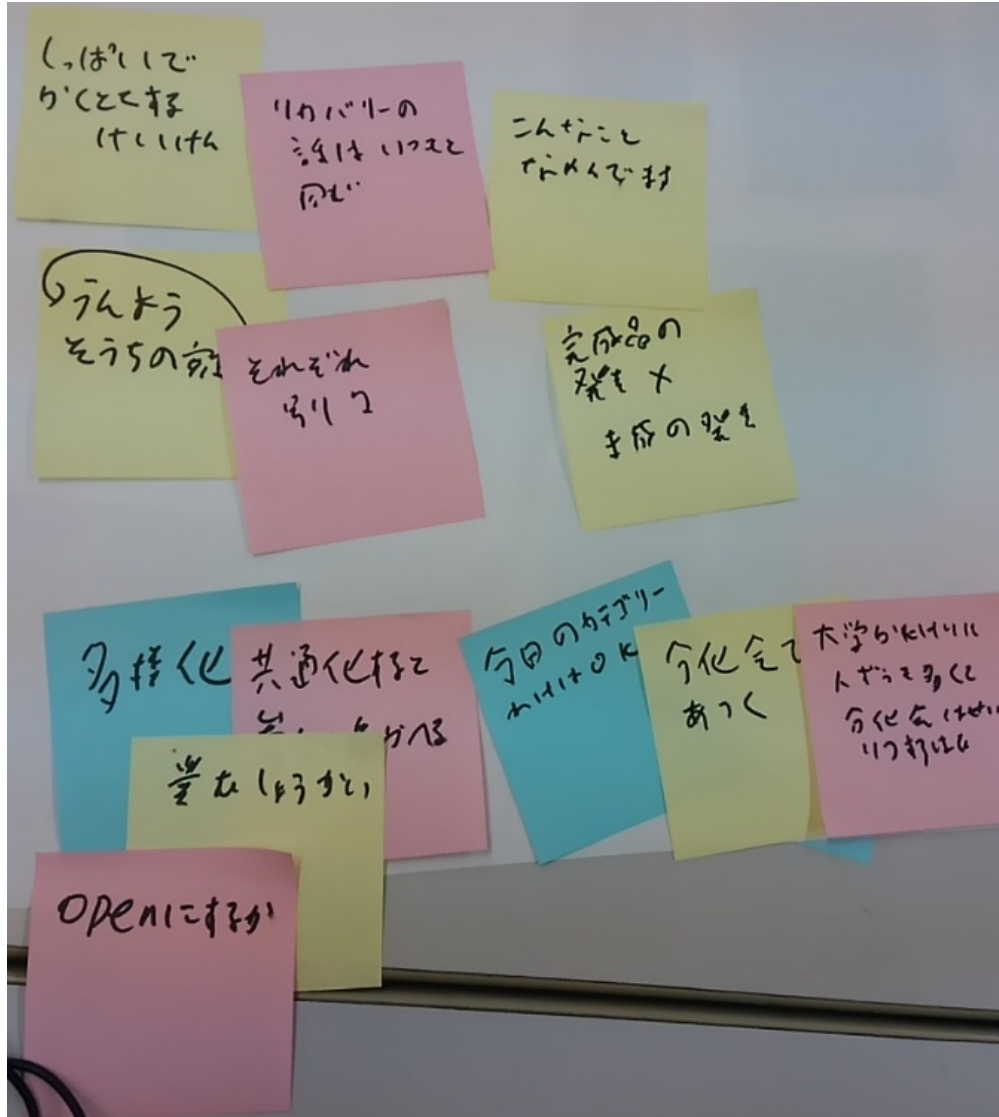
## ・良いところ

- Face to Face
- 学生にやさしい
- 交流
- **Negative**なことは考えられない

## ・改善すべきところ

- 経費、費用対効果
- 世話人が大変
- 技術推進につながらない
- 専門性が多様
- 体育会系(?) 交流がなくて寂しい
  - 東京天文台だったとき、各観測所に縛られている方が多かった。交流会が唯一会える場?
- 目的が良くわからない

# まとめに向けて



- テーマ設定とかしてみる？
  - 失敗で獲得する経験とか = > 失敗成功談は結局どこでも同じよう話になる
  - こんなこと悩んでます
  - (完成品の話は他の研究会でも聞けるので) 未完成発表会
  - 装置運用の安定化 = > 結局装置も様々だし
- (B級グルメからの) 多様化
  - テーマ設定とか共通化すると参加者が減る
  - 業務紹介? => Openにするか?
  - 今回のカテゴリー分けはOK
  - 分科会で熱い議論を
  - 大学関係の集まりでは参加者も多く分科会に分けても成立する

ファシリテータの力不足で、残念ながら時間が足りずまとめになりませんでしたでしたが、有意義な意見交換ができたと感じました。